

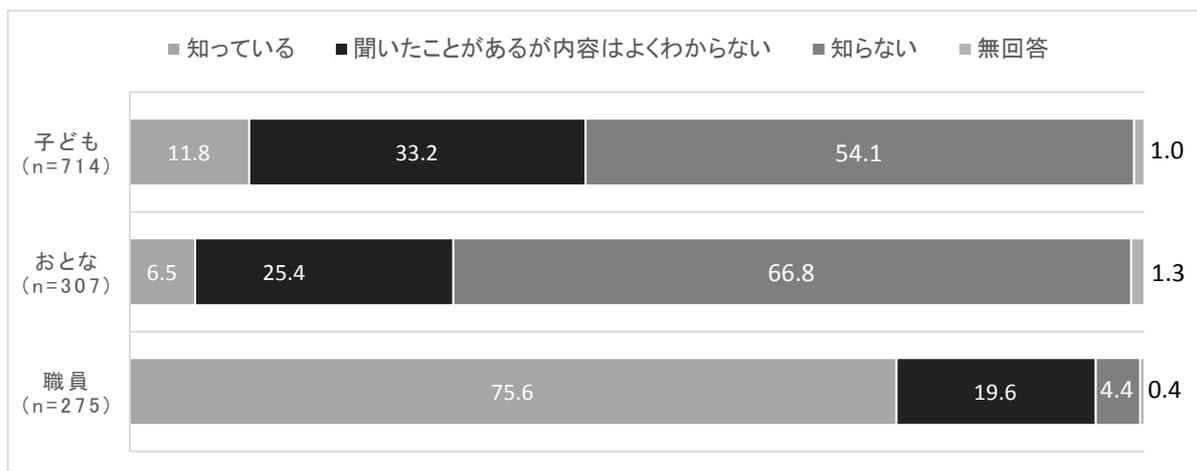
Ⅱ アンケート調査の結果

1 子どもの権利条例について

(1) 条例の認知度

子どもの権利条例を「知っている」と回答する割合は、子どもが11.8%、おとなが6.5%、職員が75.6%、「聞いたことがあるが内容はよくわからない」と回答する割合は、子どもが33.2%、おとなが25.4%、職員が19.6%であった。子どもは54.1%、おとなは66.8%、職員は4.4%が「知らない」と回答している。

図1 川崎市子どもの権利条例を知っていますか。【全体】

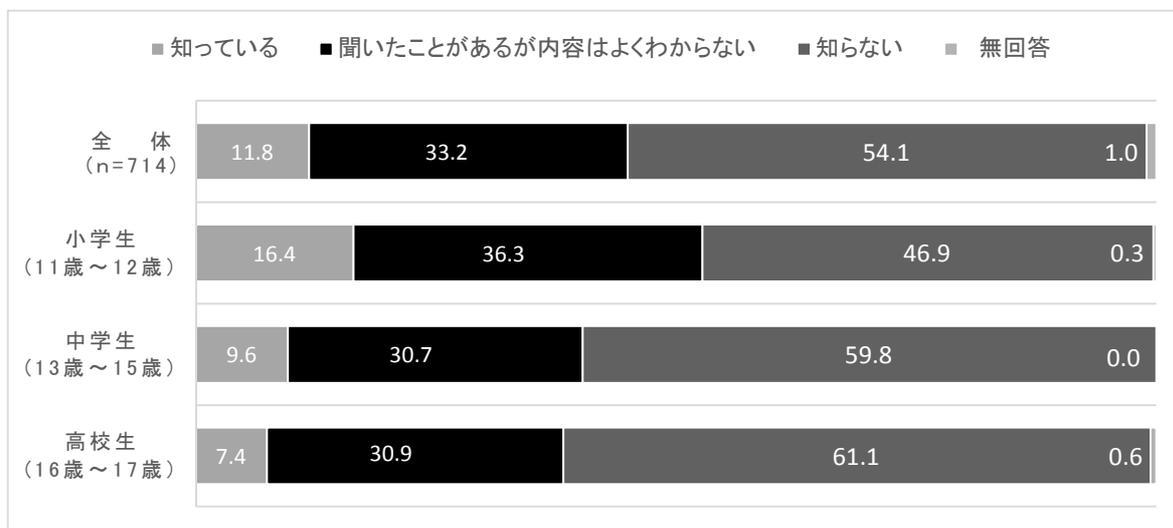


① 子ども

【子ども一年齢別】

子どもを年齢別に見ると、「知っている」と回答する割合は小学生世代で16.4%、中学生世代で9.6%、高校生世代で7.4%と、年齢が上がるほど減少している。「聞いたことがあるが内容はよくわからない」と合わせてもその傾向は変わらず、小学生世代で学習したものの、年齢が上がるごとにその内容が薄れている可能性も考えられる。

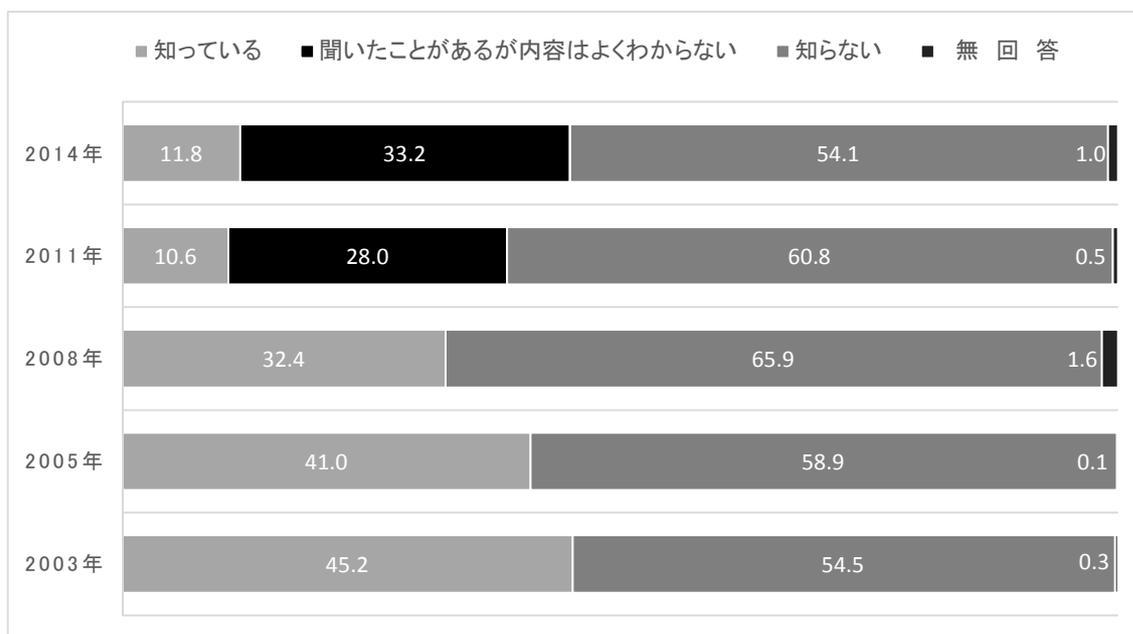
図2 Q1-1 川崎市子どもの権利条例を知っていますか。【子ども一年齢別】



【子ども一経年比較】

前回の調査より、新たに「聞いたことはあるが内容はよくわからない」を設けたため、「知っている」「知らない」と回答する割合を1～3回の調査と比較することはできないが、前回の調査と比較すると、条例を「知っている」人が10.6%から11.8%、「聞いたことはあるが内容はよくわからない」人が28.0%から33.2%と、いずれも増加している。

図3 Q1-1 川崎市子どもの権利条例を知っていますか。【子ども一経年比較】

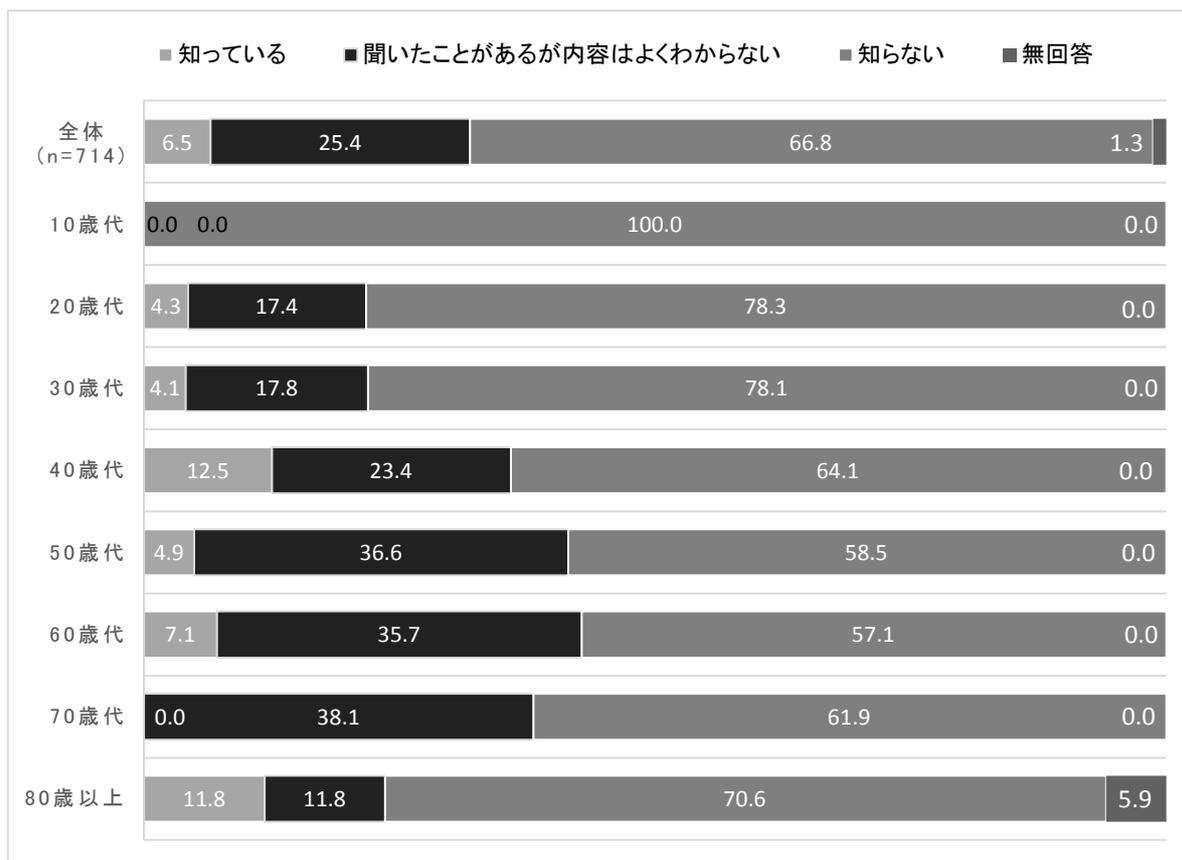


②おとな

【おとな一年代別】

「知っている」とする回答が最も多い年代は、40歳代で12.5%であった。20歳代・30歳代の比較的若い世代の認知度が、それ以上の世代に比べてやや低かった（20歳代4.3%、30歳代4.1%）。

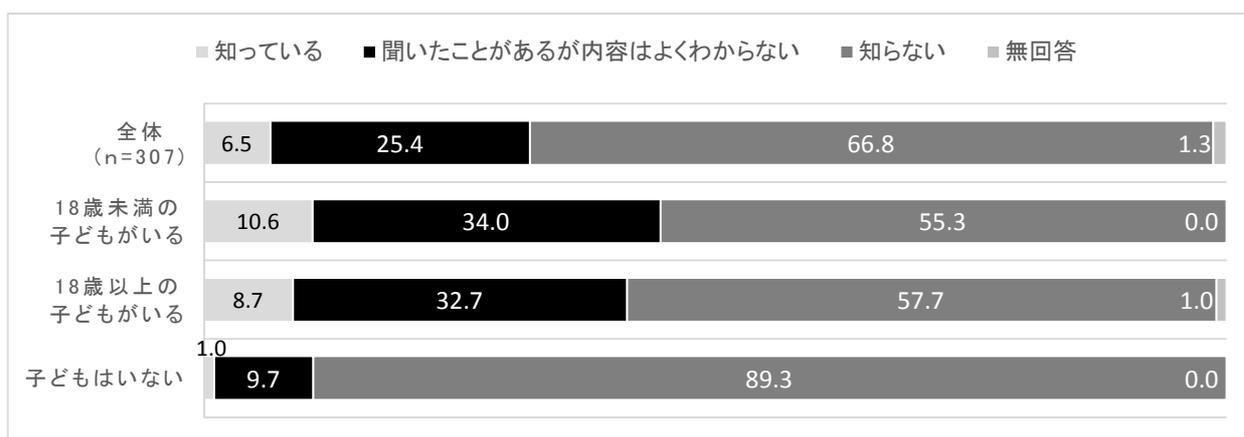
図4 Q1-1 川崎市子どもの権利条例を知っていますか。【おとな一年代別】



【おとな—子どもの有無別】

子どもの有無別で見ると、条例を「知っている」割合は、「18歳以上の子どもがいる」おとなで 10.6%、「18歳未満の子どもがいる」おとなで 8.7%、「子どもがいないおとな」で 1.0%であった。

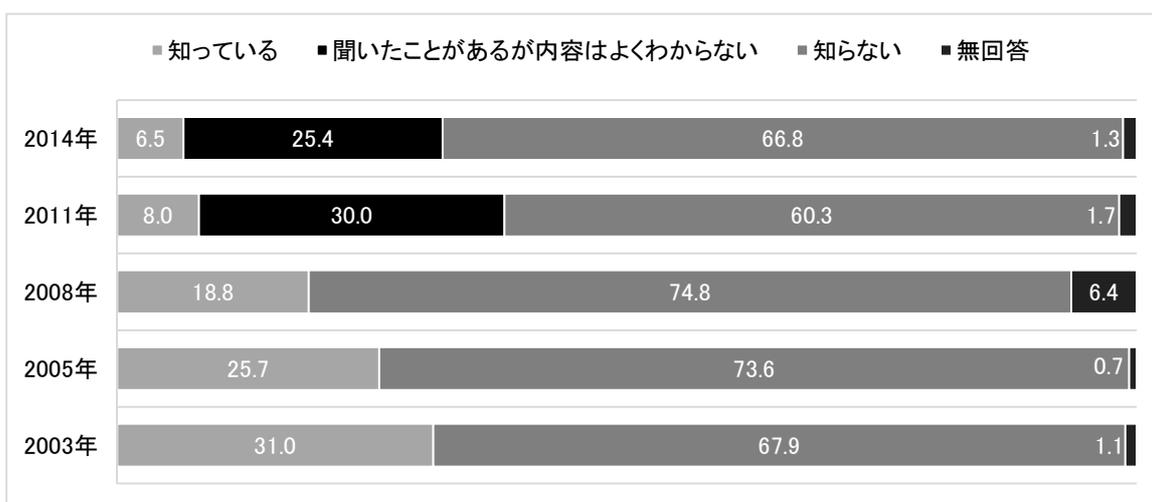
図5 Q1-1 川崎市子どもの権利条例を知っていますか。【おとな—子どもの有無別】



【おとな—経年比較】

子どもと同様、前回の調査より、新たに「聞いたことはあるが内容はよくわからない」を設けたため、「知っている」「知らない」と回答する割合を1～3回の調査と比較することはできないが、前回の調査と比較すると、条例を「知っている人」が8.0%から6.5%、「聞いたことはあるが内容はよくわからない」人が30.0%から25.4%と、いずれも減少している。

図6 Q1-1 川崎市子どもの権利条例を知っていますか。【おとな—経年比較】

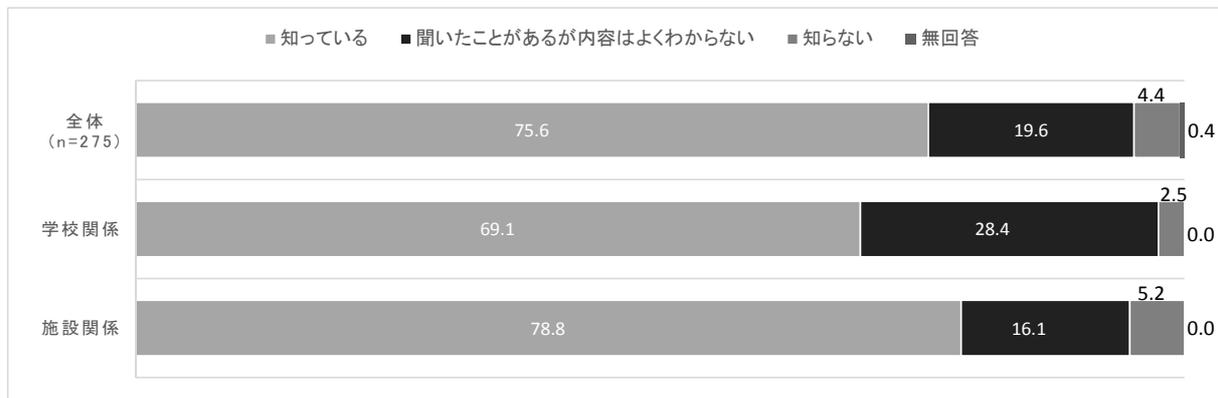


③職員

【職員—学校・施設別】

学校関係職員の69.1%、施設関係職員の78.8%が条例を「知っている」と回答した。

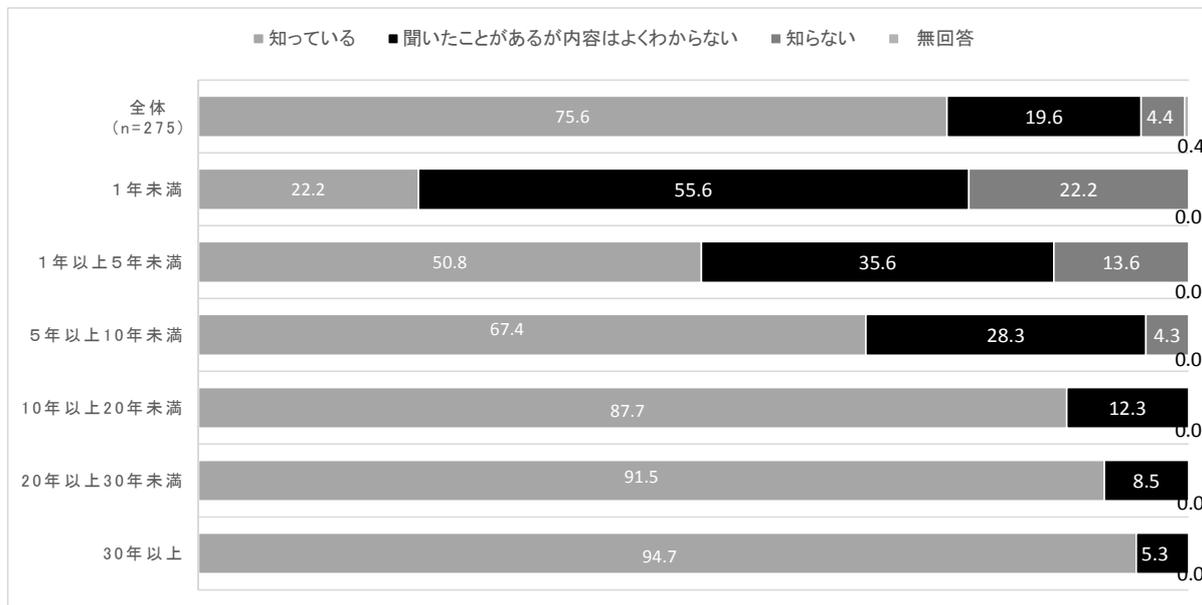
図7 Q1-1 川崎市子どもの権利条例を知っていますか。【職員—学校・施設別】



【職員—勤続年数別】

勤続年数が高い職員ほど「知っている」割合が増加しており、30年以上の勤続年数の職員は94.7%が「知っている」と回答した。

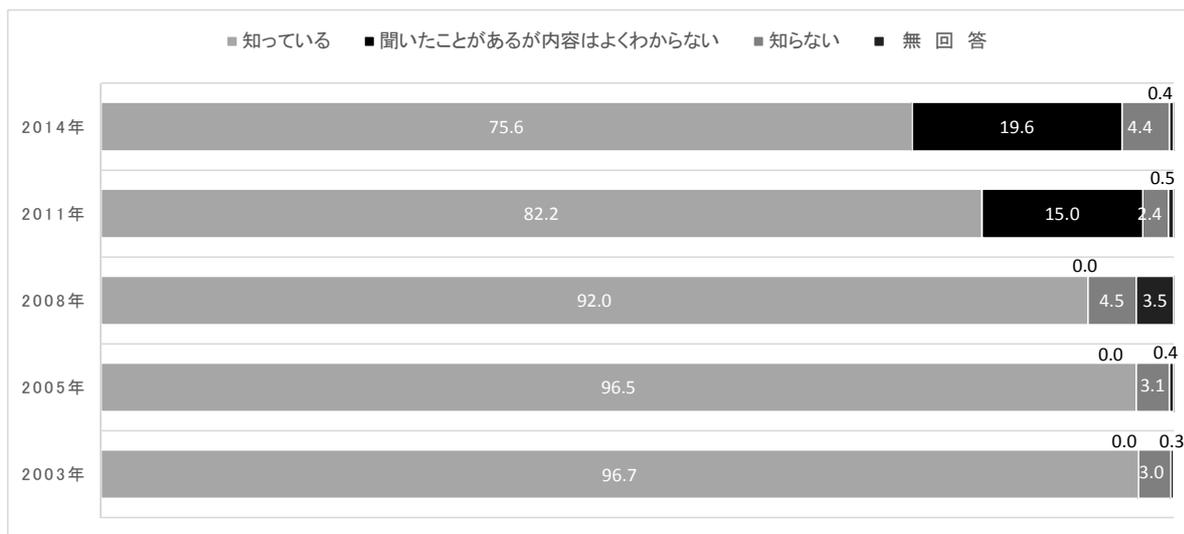
図8 Q1-1 川崎市子どもの権利条例を知っていますか。【職員—勤続年数別】



【職員—経年比較】

子ども・おとなと同様、前回の調査より、新たに「聞いたことはあるが内容はよくわからない」を設けたため、「知っている」「知らない」と回答する割合を1～3回の調査と比較することはできないが、条例を「知っている」人が前回の調査から82.2%から75.6%へと減少しており、認知度の低下傾向は続いている。

図9 Q1-1 川崎市子どもの権利条例を知っていますか。【職員—経年比較】



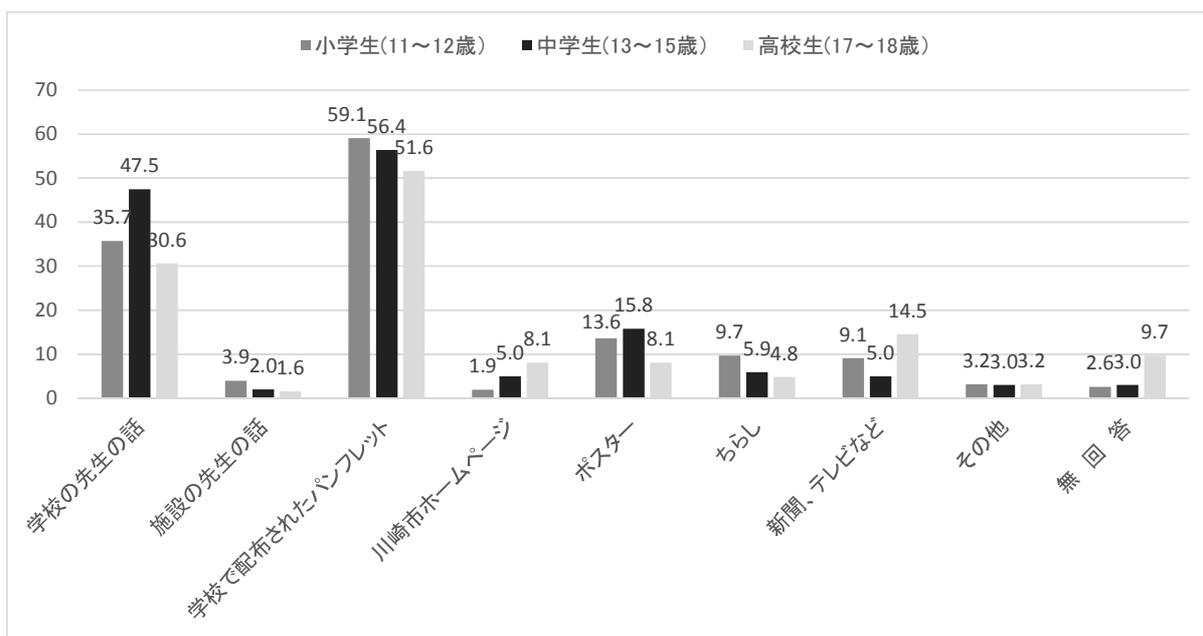
(2) 条例の認知方法（条例を「知っている」「聞いたことはある」と回答した人）

① 子ども

【子ども—年齢別】

年代別に見ると、小学生世代・中学生世代・高校生世代ともに、「学校で配布されたパンフレット」「学校の先生の話」と回答する割合が高かった。

図10 Q1-2 川崎市子どもの権利条例をふだんどのような方法で見たり聞いたりしますか。【子ども—年齢別】



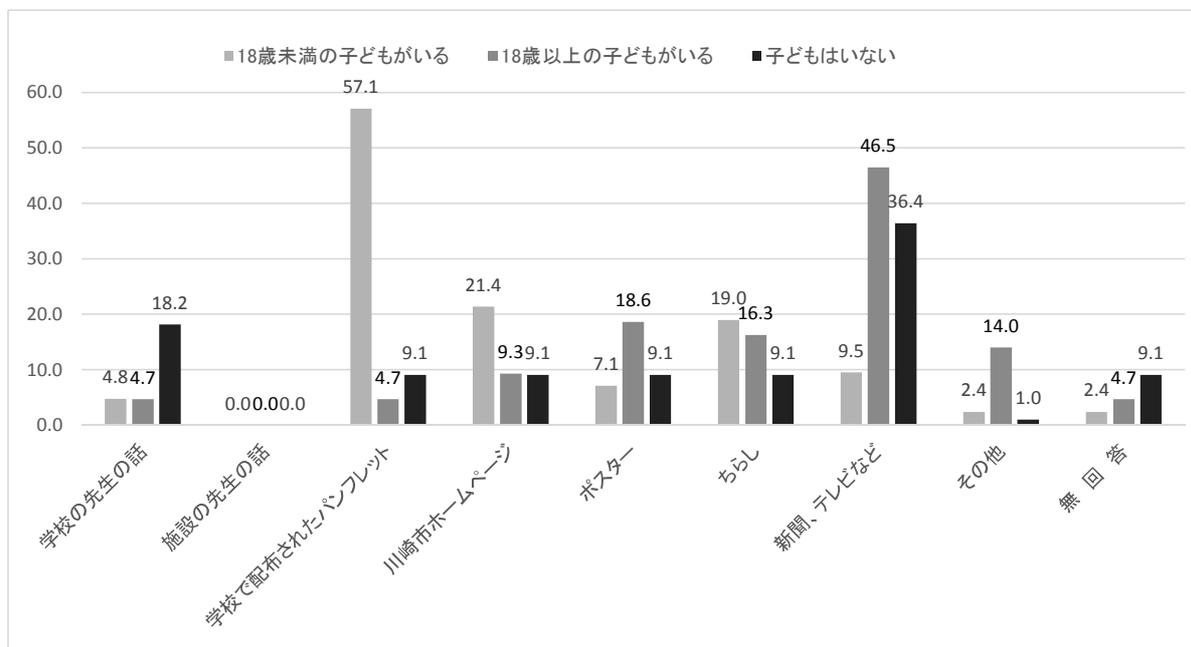
②おとな

【おとな—子どもの有無別】

「18歳未満の子どもがいる」おとなで最も割合の高い回答は、「学校で配布されたパンフレット」(57.1%)である。「学校で配布されたパンフレット」を見る機会がないと思われる「18歳以上の子どもがいる」おとなや「子どもはいない」おとなで最も割合の高い回答は、「新聞、テレビなど」(「18歳以上の子どもがいる」おとな：46.5%、「子どもはいない」おとな：36.4%)であった。それ以外では「川崎市ホームページ」「ポスター」「ちらし」があがっていた。

図 1 1 Q 1-2 川崎市子どもの権利条例をふだんどのような方法で見たり聞いたりしますか。

【おとな—子どもの有無別】

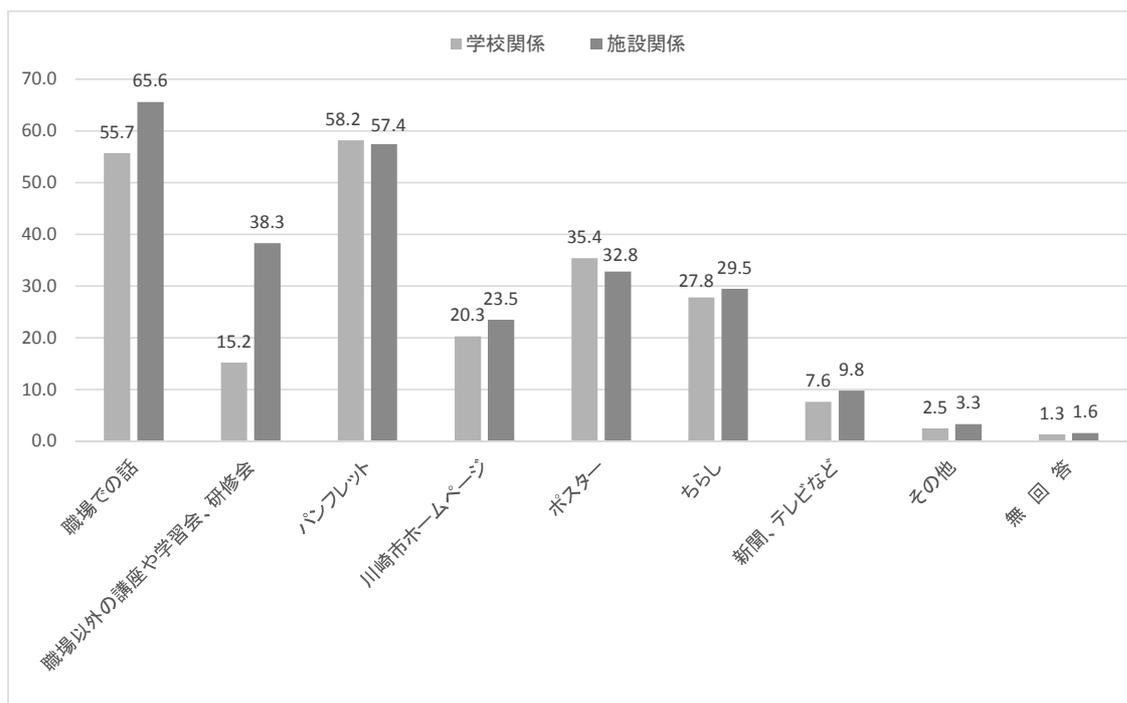


③職員

【職員—学校・施設別】

学校関係の職員・施設関係の職員ともに、「職場での話」「パンフレット」が高かった。施設関係の職員は、「職場以外の講座や学習会、研修会」も 38.3%と比較的高い回答であった。

図 1 2 Q 2 川崎市子どもの権利条例をふだんどのような方法で見たり聞いたりしますか。【職員—学校・施設別】



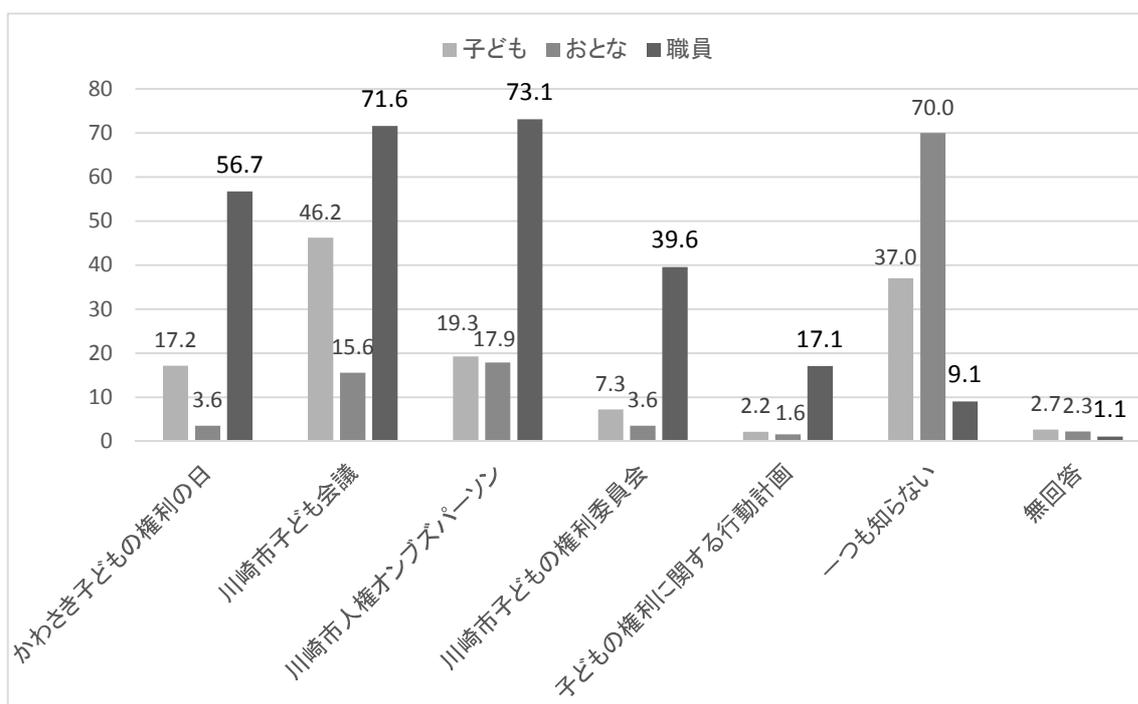
(3) 条例にもとづく制度の認知度

子どもの回答で最も高いのが「川崎市子ども会議」で46.2%で、次いで「川崎市人権オンブズパーソン」が19.3%であった。また、「一つもしらない」とする回答は37.0%に上った。

おとなは、全体的に認知度が低く、70.0%のおとなが「一つも知らない」と回答した。知っているものの中では、「川崎市人権オンブズパーソン」(17.9%)、「川崎市子ども会議」(15.6%)があがった。

職員では、「川崎市人権オンブズパーソン」が73.1%と最も高く、次いで「川崎市子ども会議」(71.6%)「かわさき子どもの権利の日」(56.7%)という結果であった。

図13 次の川崎市のしくみで知っているものは何ですか。【全体】



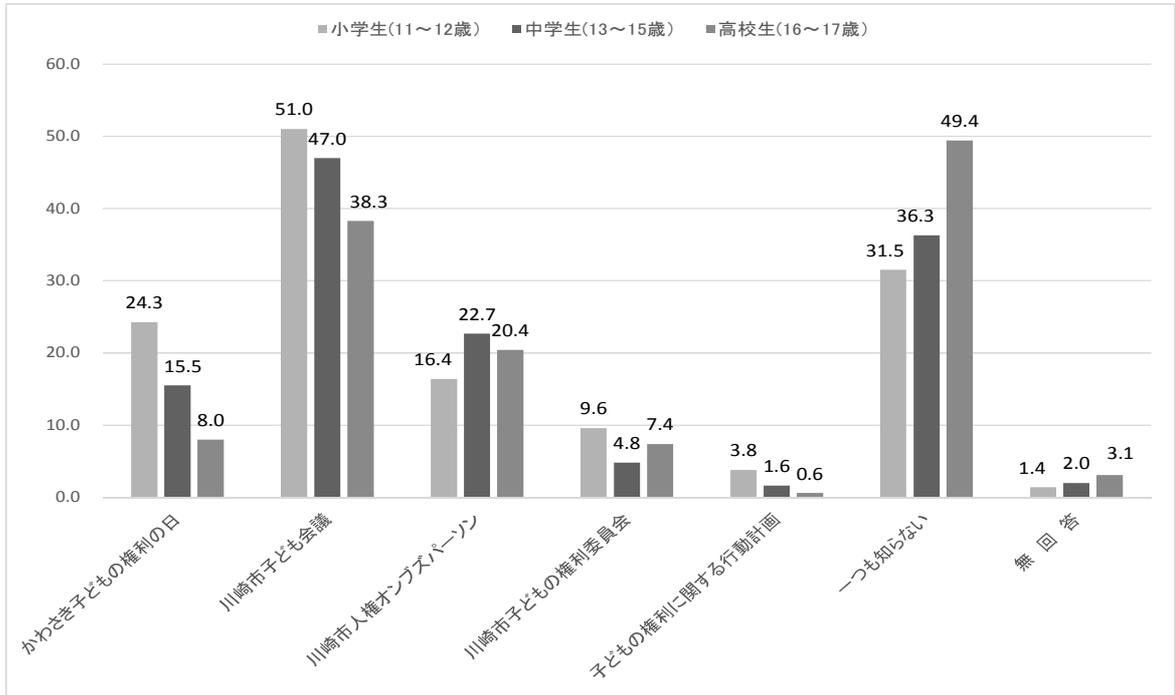
①子ども

【子ども一年齢別】

年齢別にみると、子ども全体として最も回答が多かった「子ども会議」は、小学生世代が51.0%、中学生世代で47.0%、高校生世代で38.3%と年齢があがるにしたがって減少する傾向にあり、「かわさき子どもの権利の日」も同様であった。「一つも知らない」という回答は年齢が上がるにしたがって増加の傾向にあり、高校生世代で49.4%と半数近くに達する結果であった。

一方で、子ども全体で2番目に割合が高かった「川崎市人権オンブズパーソン」は、小学校世代より中学校世代、高校生世代の方が高いという結果であった。

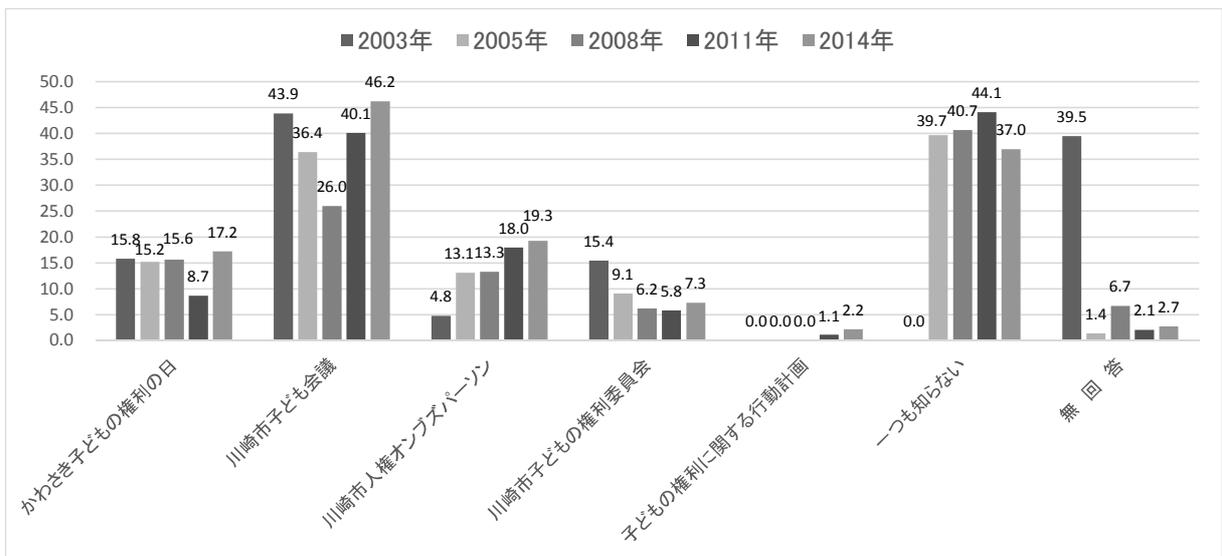
図14 Q2 次の川崎市のしくみで知っているものは何ですか。【子ども一年齢別】



【子ども一経年比較】

「かわさき子どもの権利の日」「川崎市子ども会議」「川崎市人権オンブズパーソン」「川崎市子どもの権利委員会」「子どもの権利に関する行動計画」のすべてにおいて、前回調査より増加した。「一つも知らない」とする回答も今回の調査がもっとも低い割合であった。

図15 Q2 次の川崎市のしくみで知っているものは何ですか。【子ども一経年比較】



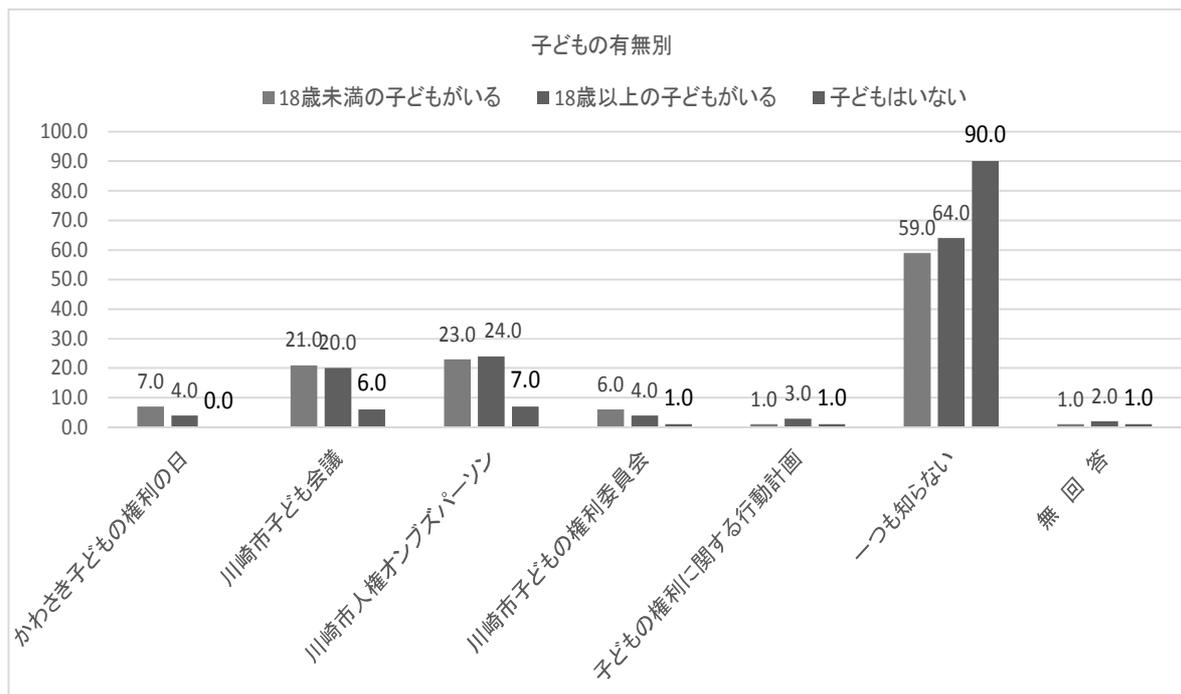
②おとな

【おとな—子どもの有無別】

ほぼすべての項目において、「知っている」と回答した「18歳未満の子どもがいる」おとなと「18歳以上の子どもがいる」おとなが、「子どもはいない」おとなの割合を上回った。

「一つも知らない」割合は「子どもはいない」おとなが最も高く、90.0%にのぼった。

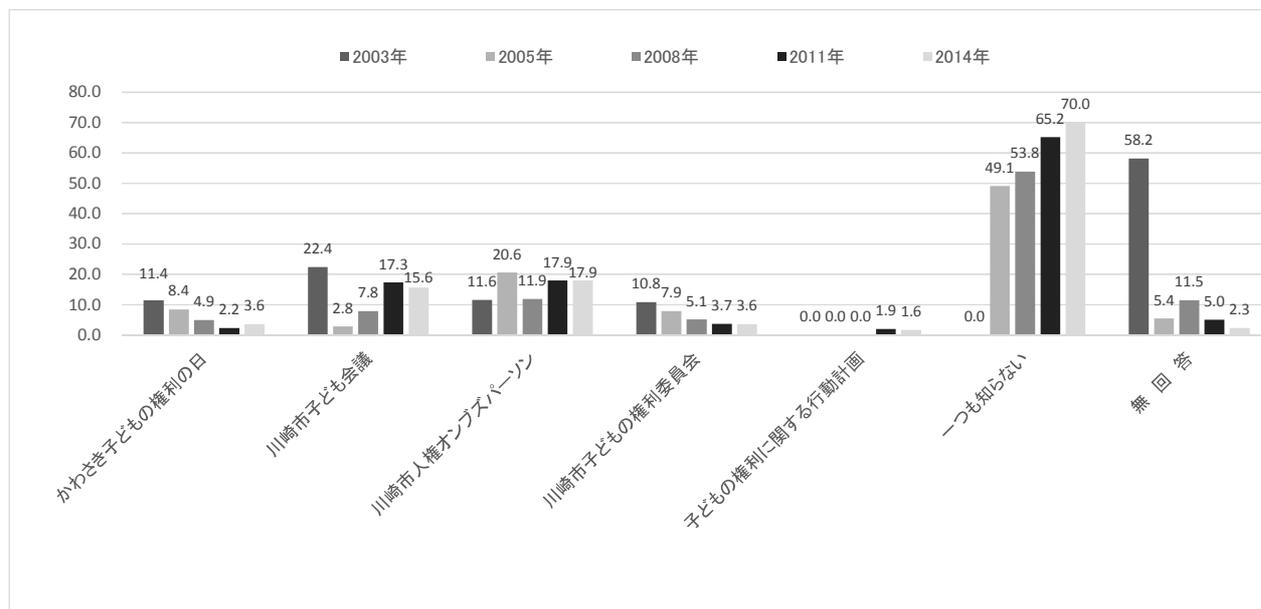
図16 Q2 次の川崎市のしくみで知っているものは何ですか。【おとな—子どもの有無別】



【おとな—経年比較】

今回の調査では、前回調査（2011年）と比べて「かわさき子どもの権利の日」の認知度のみが上がっている。一方で「一つも知らない」という回答が70.0%と過去最高であった。

図17 Q2 次の川崎市のしくみで知っているものは何ですか。【おとな—経年比較】

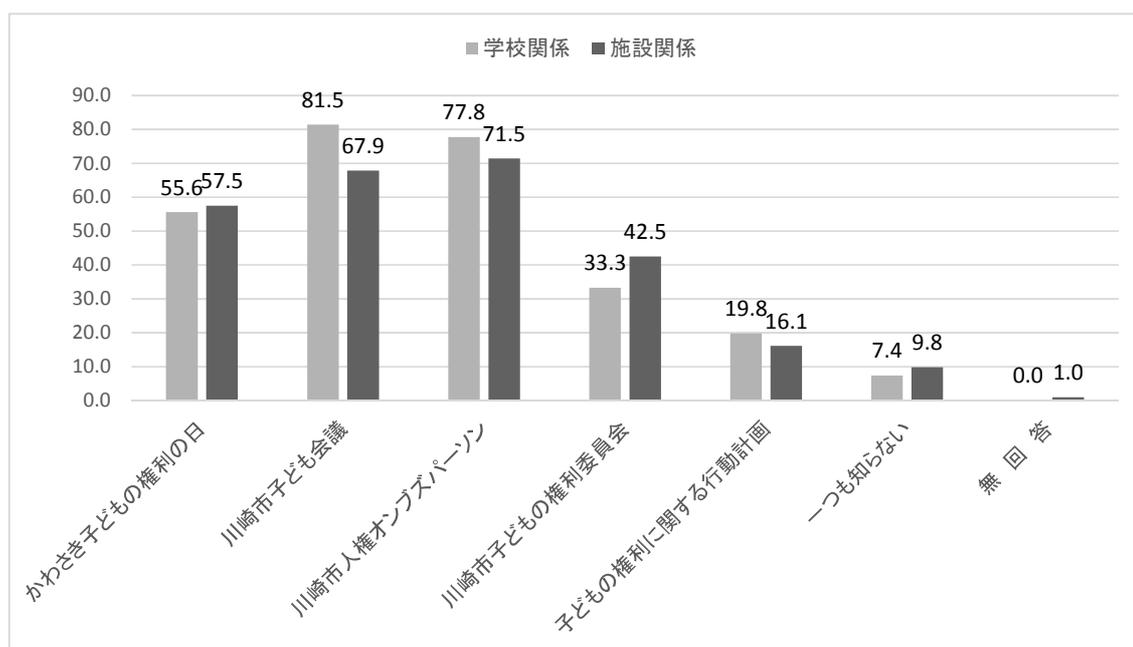


③職員

【職員—学校・施設別】

学校関係の職員・施設関係の職員ともに、「川崎市人権オンブズパーソン」「川崎市子ども会議」を知っていると回答する割合が高かった。「川崎市人権オンブズパーソン」「川崎市子ども会議」とも、「知っている」と回答する割合は学校関係の職員の方が高かった。

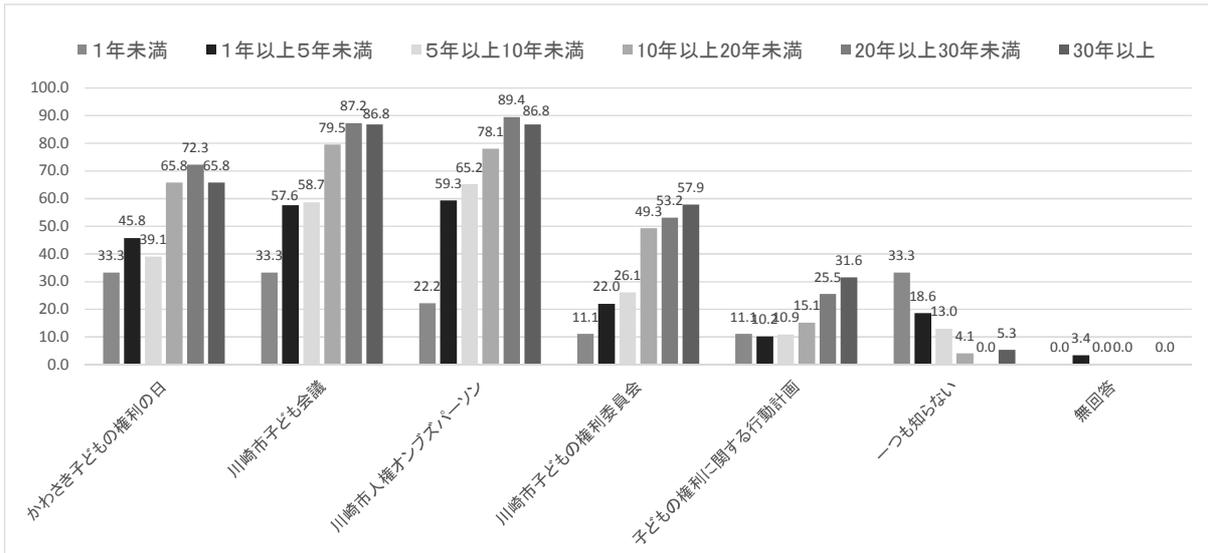
図18 Q3 次の川崎市のしくみで知っているものは何ですか。【職員—学校・施設別】



【職員—勤続年数別】

おおよそ勤続年数が長いほうがそれぞれのしくみの認知度が高い傾向にあるが、「かわさき子どもの権利の日」「川崎市子ども会議」「川崎市人権オンブズパーソン」については、30年以上の職員より、20年以上30年未満の職員のほうが知っている割合がやや高かった。

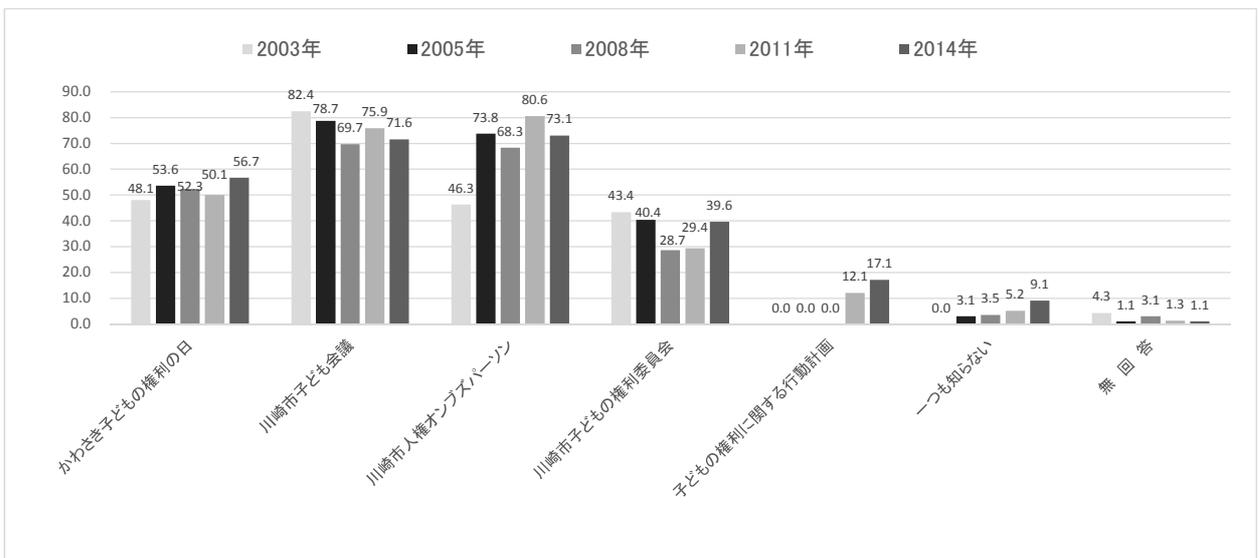
図19 Q3 次の川崎市のしくみで知っているものは何ですか。【職員—勤続年数別】



【職員—経年比較】

今回の調査では、「かわさき子どもの権利の日」「川崎市子どもの権利委員会」「子どもの権利に関する行動計画」の認知度が前回調査より上昇した。一方、「一つも知らない」という回答は9.1%と過去最高となった。

図20 Q3 次の川崎市のしくみで知っているものは何ですか。【職員—経年比較】



(4) 条例リーフレットの認知度

平成 25 年度に新たに作成した「かわさきし子どもの権利条例リーフレット」について、「知っている」と回答した割合は、子どもは 21.5%、おとなが 18.4%であった。

図 2 1 Q 1-3 かわさきし子どもの権利じょうれいリーフレットを知っていますか。【子ども・おとな別】

